

FU-600J

ユーザーズガイド

株式会社 エヌ・ティ・ティ ファシリティーズ

AL1U-0127-U04B

2003年8月 第5版

このたびは、FU-600Jをお買い上げいただき、まことにありがとうございます。

1. この取扱説明書は大切に保管してください。
2. この取扱説明書の内容は、予告なしに変更することがあります。
3. この取扱説明書に書かれた注意を守らずに使用された結果については、当社は責任を負いかねますのでご了承ください。
4. この取扱説明書の内容の一部または全部を、無断で複写、転写しないでください。
5. この取扱説明書の内容は、万全を期して作成していますが、お気づきの点、ご不明な点がありましたら、お手数でもお買い上げの販売店または最寄りの営業所までご連絡ください。

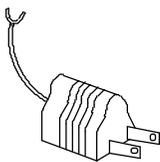
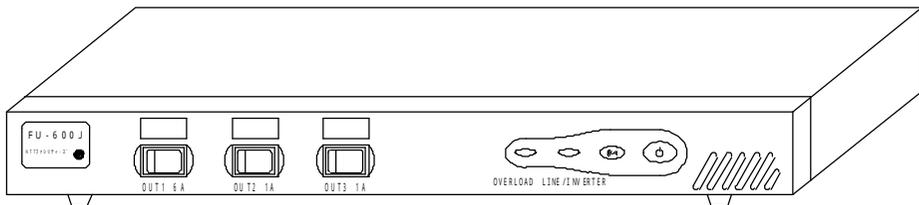
Copyright © 2000 - 2003
株式会社 エヌ・ティ・ティ ファシリティーズ

はじめに

このたびは FU-600J をお求めいただきまして、誠にありがとうございました。
ご使用前に、必ずこの取扱説明書とその他の付属書類を
すべて熟読し、正しくお使いください。

梱包箱のなかみの確認

まず、梱包箱を開けてなかみを確認してください。
不足しているものや不良のものがありましたら、お買い上げの販売店または最寄りの営業所までご連絡
ください。



3P/2P 変換アダプタ



CD-ROM(LanSafe /FailSafe)

ソフトウェア
インストール
マニュアル

ソフトウェア インストールマニュアル

取扱
説明書

取扱説明書

重要
保証書在中

保証書

ラベル

負荷ラベル



入力電源コード



インターフェースケーブル (MUX0303)

125V 10A 1本



125V 8A 1本



ヒューズ

安全上のご注意

1. 安全にご使用いただくために

- (1) ご使用の前に、必ずこの取扱説明書とその他の付属書類をすべて熟読し、正しくお使いください。
- (2) この取扱説明書では、安全注意事項のランクを「危険」、「注意」として区別してあります。



: 取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて死亡または重傷を受ける可能性が想定される場合。



: 取扱いを誤った場合に、危険な状態が起こりえて中程度の傷害や軽傷を受ける可能性が想定される場合および物的損害のみの発生が想定される場合。

なお、 注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも重要な内容を記載していますので必ず守ってください。

禁止、強制の絵表示の説明を次に示します。



: 禁止（してはいけないこと）を示します。



: 強制（必ずしなければならないこと）を示します。
例えば、接地の場合は  となります。

- (3) 警告表示がかすれたり、警告ラベルが破損した場合は、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご連絡して頂き、常に明瞭な状態に維持するようにしてください。

2. 取扱説明書内の警告文

2.1 危険回避の警告文

設置上の注意事項

 注意	
	(参照ページ)
・通風口はふさがらないでください。壁などから 10cm 離して UPS を設置してください。	(8)
通風口をふさぐと UPS の内部温度が上昇し、火災の原因になることがあります。	
・UPS の上面には 30kg 以上の物を載せないでください。	(8)
・必ず UPS を平らな面においてください。	(8)
感電のおそれがあります。	
・次のような環境での使用、保管は絶対にしないでください。	(8)
装置故障、損傷、劣化などによって、火災などの原因になることがあります。	
カタログ、取扱説明書に記載の周囲環境条件から外れた高温、低温、多湿となる場所	
直射日光が直接あたる場所	
ストーブなどの熱源などから熱を直接受ける場所	
車載、船舶等、振動や衝撃の加わる場所	
火花が発生する機器の近傍	
粉塵、腐食性ガス、塩分、可燃性ガスがある場所	
屋外	

配線上の注意事項

 注意	
	(参照ページ)
・アース線を指定の方法で確実に接続してください。	(11,22)
アースを接続しない場合、感電のおそれがあります。	
なお、アース接続ができない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご相談ください。	
・入力電源コードは、付属品以外のものを使用しないでください。	(11)

使用上の注意事項

 危険	
	(参照ページ)
・UPS のカバーは開けないでください。	(22,23)
感電のおそれがあります。	

使用上の注意事項

 注 意	
<ul style="list-style-type: none"> ・ UPS が故障し、異臭、異音が発生したときは、UPS をすぐに停止してください。 火災の原因になる場合があります。 	(参照ページ) (12,23)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 通風口に棒・指などを入れないでください。 感電のおそれがあります。 	(13,23)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。 運転中に入力プラグを出力コンセントに差し込むと電流が還流し、アークが発生してやけど、視覚の障害などのおそれがあります。 	(13,23)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 両端がプラグになっているケーブルはご使用にならないでください。 感電・やけどのおそれがあります。 	(13,23)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 装置を商用電源に接続する前に POWER スイッチを OFF にしてください。 感電・やけどのおそれがあります。 	(11,23)
<ul style="list-style-type: none"> ・ POWER スイッチを ON にしたまま入力電源コードを抜かないでください。 感電・やけどのおそれがあります。 	(13,23)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 負荷を減らす場合、POWER スイッチを OFF にしてください。 火災・やけどの原因になる場合があります。 	(13,17,22,23)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 運転中は UPS を絶対に移動させないでください。 感電・やけどのおそれがあります。 	(13,17,22,23)

 禁 止	
<ul style="list-style-type: none"> ・ UPS の周辺での喫煙、火気の使用を禁止します。 爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。 	(参照ページ) (13)
<ul style="list-style-type: none"> ・ UPS の上部に花瓶など水の入った容器をおかないでください。 花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電、UPS 内部からの火災の原因になることがあります。 	(13)
<ul style="list-style-type: none"> ・ UPS の上部に腰掛けたり、乗ったり、踏み台にしたり、寄りかかったりしないでください。 	(13)
<ul style="list-style-type: none"> ・ 次のような用途には絶対に使用しないでください。 <ul style="list-style-type: none"> a . 人命に直接かわる医療機器などへの使用 b . 人身の損傷に至る可能性のある航空機、電車、エレベータなどへの使用 c . 社会的、公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用 d . これらに準ずる装置 	(13)

保守・点検上の注意事項

 注意	
・ バッテリーには寿命があります。 有効期限の過ぎたバッテリーを使用しないでください。 火災の原因になることがあります。	(参照ページ) (15, 24)

 禁止	
・ 指定した人以外の方は、保守・点検、修理をしないでください。 感電、けが、火災のおそれがあります。	(参照ページ) (24)

2.2 装置の性能に関する注意事項

使用上の注意事項

 注意	
・ バッテリーは使用しなくても自然放電します。初回取付時または長期保存後はUPSを 24時間充電してください。 また、長期保存時は6ヶ月ごとに24時間の充電運転を行ってください。 バッテリーが使用できなくなることがあります。	(参照ページ) (15)

 注意	
・ POWER スイッチを ON にしたままで、入力電源コードを抜かないでください。 停電と同じ状態になり、バッテリーが放電します。	(参照ページ) (14, 15)

 注意	
・ 負荷の消費電力の合計が360W 6A以下にしてください。 ・ 本装置はパソコン及び周辺機器に設計しています。 トランスやインダクタなどの巻線類負荷には適合しません。	(参照ページ) (10) (10)

 禁止							
・ スルー出力コンセントは、下記以下の負荷を接続してください。	(参照ページ) (10)						
<table border="1" style="border-collapse: collapse;"><tr><td style="padding: 5px;">OUT 1</td><td style="padding: 5px;">6 A以下</td></tr><tr><td style="padding: 5px;">OUT 2</td><td style="padding: 5px;">1 A以下</td></tr><tr><td style="padding: 5px;">OUT 3</td><td style="padding: 5px;">1 A以下</td></tr></table>	OUT 1	6 A以下	OUT 2	1 A以下	OUT 3	1 A以下	
OUT 1	6 A以下						
OUT 2	1 A以下						
OUT 3	1 A以下						

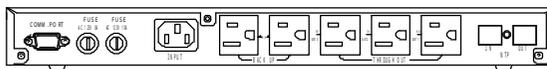
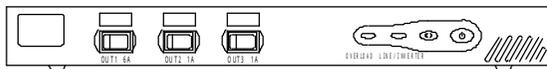
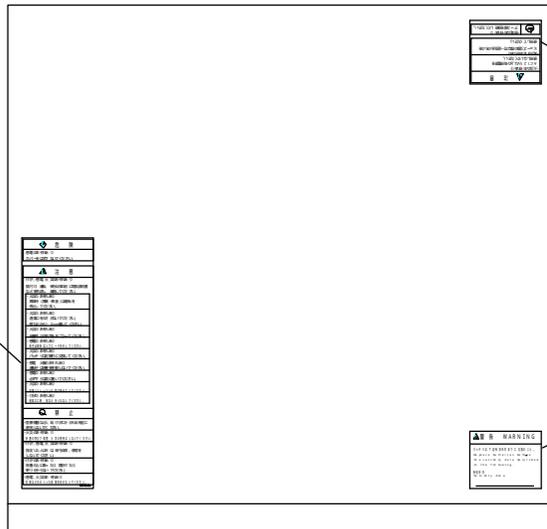
3. 「警告ラベル」の内容と表示位置

FU-600Jには次のような「警告ラベル」が貼られています。

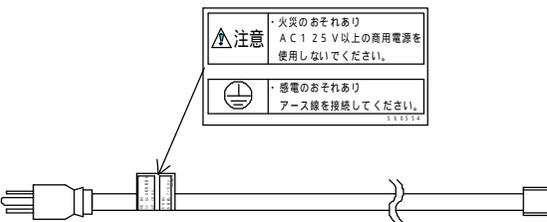
ラベルの内容を確認し、必ず守るようにしてください。

また、「警告ラベル」が剥がれたり、はがれたりした場合は、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご連絡してください。

危険
感電のおそれあり カバーをはずさないでください。
注意
けが、感電、火災のおそれあり 据付け、運転、保守点検の前に取扱説明書などを熟読し、実施してください。
・火災のおそれあり 異常時（異臭・異音）は運転を停止してください。
・火災のおそれあり 通風口をふさがないでください。 壁などから10cm離してください。
・火災のおそれあり 装置周辺の換気をおこなってください。
・感電のおそれあり 保守点検時は入力コードを外してください。
・火災のおそれあり バッテリーは定期的に変換してください。
・感電、火傷のおそれあり 運転中は装置を移動しないでください。
・感電のおそれあり 必ず平らな面に置いてください。
・火災のおそれあり 荷重30kg以上の物は乗せないでください。
・けがのおそれあり 通風口に棒、指などを入れないでください。
禁止
・医療機器など人命、けがにかかわる用途に使用しないでください。
・火災のおそれあり 装置の周辺で喫煙、火気の使用はしないでください。
・けが、感電、火災のおそれあり 指定した人以外は、保守点検、修理をしないでください。
・けがのおそれあり 装置の上に乗ったり、腰かけたり、寄りかからないでください。
・感電、火災のおそれあり 花瓶など水の入った容器をおかないでください。



MODEL: DL5107-600J
(INPUT) OUTPUT
CAP. MAX. 1500VA CAP. BACKUP 600VA
THROUGH 600VA
VOLTS 75-125V VOLTS 100V
FREQ. 50/60Hz FREQ. RANGE AS INPUT
LOAD PF 0.6
MASS 11kg
DENSE I-LAMBDA K.K.



目次

	ページ
1．設置場所	8
2．各部の名称	9
3．使い方	10
4．長期間使用しない時には	15
5．停電時の動作	16
6．過負荷時の動作	17
7．バッテリー電圧不足時の動作	19
8．インターフェース信号について	20
8.1 信号および端子配列	20
9．ネットワークサージプロテクタ	21
10．故障かな？と思ったら	22
11．長くお使いいただくために	23
11.1 定期的な点検	23
11.2 バッテリーの寿命について	24
12．保証書とアフターサービス	25
12.1 保証書	25
12.2 アフターサービス	25
13．仕様	26
14．外形図	27
15．系統図	27

1 . 設置場所

FU-600J は、屋内用に設計しています。適切な環境でご使用ください。

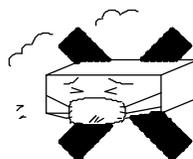
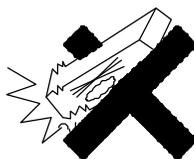
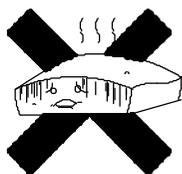
⚠ 注意

- ・通風口はふさがないでください。壁などから 10cm 離して UPS を設置してください。通風口をふさぐと UPS の内部温度が上昇し、火災の原因になることがあります。
- ・UPS の上面には 30kg 以上の物を載せないでください。
- ・必ず UPS を平らな面においてください。
感電のおそれがあります
- ・次のような環境での使用、保管は絶対にしないでください。
装置故障、損傷、劣化などによって、火災などの原因になることがあります。
カタログ、取扱説明書に記載の周囲環境条件から外れた高温、低温、多湿となる場所
直射日光が直接あたる場所
ストーブなどの熱源などから熱を直接受ける場所
車載、船舶等、振動や衝撃の加わる場所
火花が発生する機器の近傍
粉塵、腐食性ガス、塩分、可燃性ガスがある場所
屋外

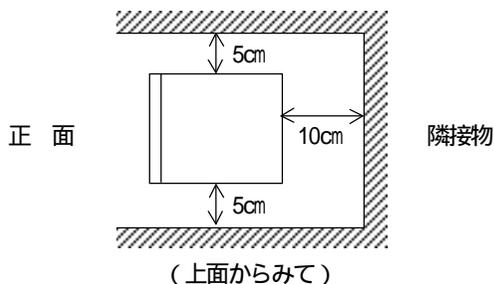
使用環境

温度： 0 ~ 40

湿度： 10 ~ 90% (但し、結露しないこと。)

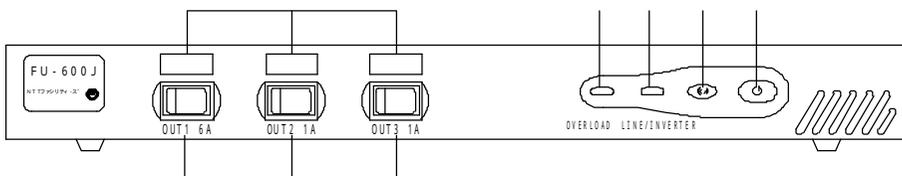


設置スペース

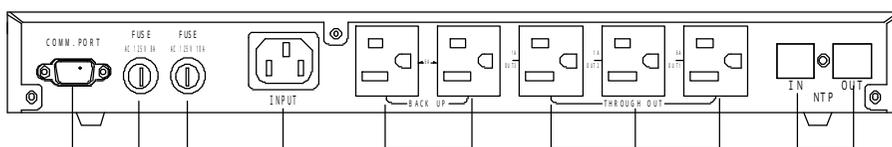


2 . 各部の名称

フロントパネル



リアパネル

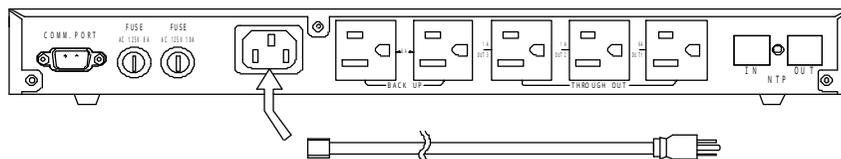


名 称	機 能
POWER スイッチ (" POWER ")	本装置の始動・停止を行います。
商用 / インバータ運転表示 (" LINE / INVERTER ")	緑色ランプが点灯している場合は、商用運転中であることを表示し、緑色ランプが点滅している場合は、インバータ運転中であることを表示します。
過負荷表示 (" OVER LOAD ")	過負荷時に赤色ランプが点灯します。
ブザースイッチ (" BUZZER ")	インバータ運転時に警報ブザーを OFF します。
負荷ラベル	ご使用の負荷の名前を添付ラベルに書き、貼ることができます。スルー出力コンセントに接続されている負荷名を表示します。
スルー出力スイッチ 1 (" OUT1 6A ")	スルー出力コンセント (OUT1 6A) を ON / OFF します。ON 時には、スイッチが点灯します。(赤色)
スルー出力スイッチ 2 (" OUT2 1A ")	スルー出力コンセント (OUT2 1A) を ON / OFF します。ON 時には、スイッチが点灯します。(赤色)
スルー出力スイッチ 3 (" OUT3 1A ")	スルー出力コンセント (OUT3 1A) を ON / OFF します。ON 時には、スイッチが点灯します。(赤色)
入力電源用インレット (" INPUT ")	商用電源を入力する端子です。
外部障害送信号端子 (" AUXT ")	インターフェース信号用端子です。
UPS 入力ヒューズ (" FUSE ")	UPS の入力ヒューズです。(125V, 8 A)
スルー出力用入力ヒューズ (" FUSE THROUGH OUT ")	スルー出力用の入力ヒューズです。(125V, 10A)
スルー出力コンセント (" THROUGH OUT ")	バックアップを必要としない負荷を接続する出力コンセントです。OUT1 は 6A、OUT2 は 1A、OUT3 は 1A まで接続できます。
バックアップ出力コンセント (" BACK UP ")	バックアップを必要とする機器を接続する出力コンセントです。合計で 600VA (360W, 6A) まで接続可能です。
ネットワークサージプロテクタ	モデムやネットワークケーブル経由のサージから機器を保護します。

3 . 使い方

1 入力電源コードを接続する。

FU-600J の入力電源用インレット（リアパネル）に入力電源コードを接続します。

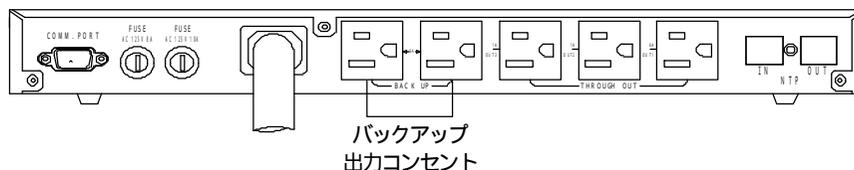


2 バックアップを必要とする負荷を接続する。

⚠ 注意

- ・ 負荷の消費電力の合計が 360W 6A 以下にしてください。
- ・ 本装置はパソコン及び周辺機器用に設計しています。
トランスやインダクタなどの巻線類負荷には適合しません。

バックアップを必要とする負荷をバックアップ出力コンセント（リアパネル）に接続してください。



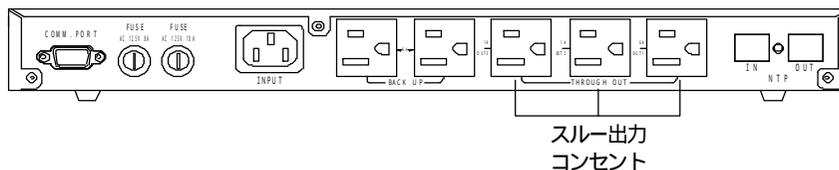
3 バックアップを必要としない負荷を接続する。

⊘ 禁止

- ・ スルー出力コンセントは、下記以下の負荷を接続してください。

OUT 1	6 A以下
OUT 2	1 A以下
OUT 3	1 A以下

バックアップを必要としない負荷をスルー出力コンセント（リアパネル）に接続してください。



- ・ スルー出力コンセントに接続した負荷は、停電時には停止します。

4 商用電源に接続する。

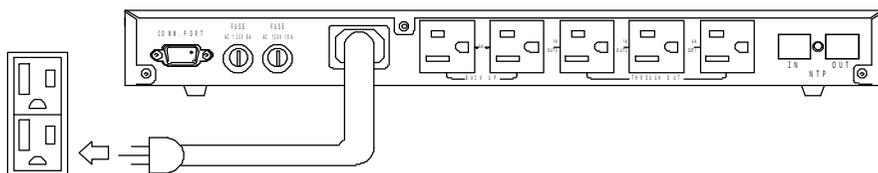
注意

- ・アース線を指定の方法で確実に接続してください。
アースを接続しない場合、感電のおそれがあります。
なお、アース接続できない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご相談ください。
- ・入力電源コードは、付属品以外のものを使用しないでください。

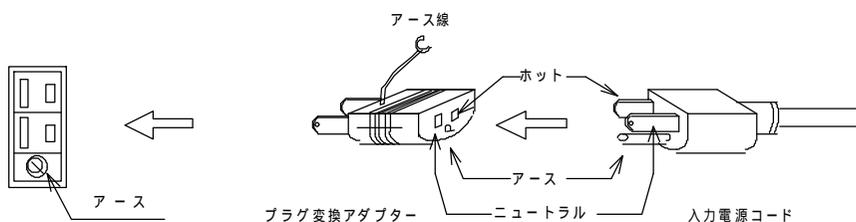
注意

- ・装置を商用電源に接続する前に POWER スイッチを OFF にしてください。
感電、やけどのおそれがあります。

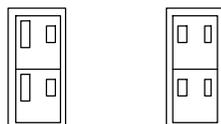
入力電源コードを商用電源のコンセントに接続してください。入力電源が正常な場合、“カチ”という音がし、装置内部の充電器が運転し、バッテリーを充電します。初めてお使いになるときは、24時間バッテリーを充電してください。



入力電源コードの差し込みプラグがコンセントに合わない場合は、下図のような3Pから2Pに変換するプラグ変換アダプターをご購入し、プラグ変換アダプターを取り付けてから差し込んでください。この時、必ずアース線をアースに接続してください。



アース接続が出来ない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご相談ください。



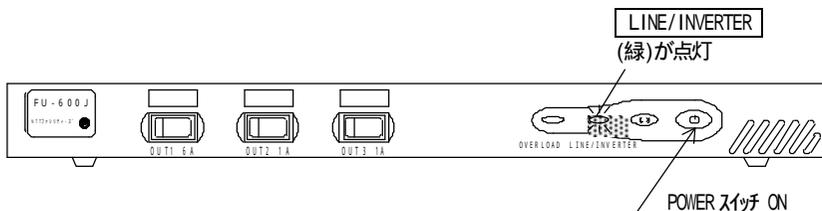
- ・FU-600J には次の電源が必要です。
電源容量：1.5kVA 以上 電源電圧：AC100V ± 25%
これ以外の電圧では正常に動作しない場合があります。
- ・AC125V 以上の商用電源を使用しないでください。
装置故障などによって、火災などの原因になることがあります。

5 始動する。

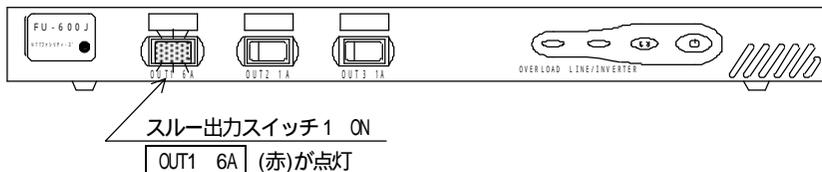
注意

- ・UPS が故障し、異臭、異音が発生したときは、UPS をすぐに停止してください。
火災の原因になる場合があります。

POWER スイッチ (フロントパネル) を ON してください。
ブザーと OVER LOAD と LINE/INVERTER の LED が 2 回点滅し、
その後 LINE/INVERTER のみが点灯し、運転となります。



6 スルー出力スイッチを ON にする。(例：スルー出力コンセント 1 を使用)
スルー出力コンセントを御使用の場合、スルー出力スイッチを ON してください。



7 負荷のスイッチを ON する。
FU-600J に接続した負荷のスイッチを ON にしてください。

- ・ OVER LOAD ランプ (赤) が点灯した場合には、過負荷ですので速やかにバックアップ出力コンセントに接続されている負荷を減らしてください。

P.17 過負荷時の動作 参照

- 8 セット完了です。
負荷（パソコンなど）の動作が正常であればセット完了です。
下記の注意のもとで FU-600J をお使いください。

 注意

- ・通風口に棒・指などを入れないでください。
感電のおそれがあります。
- ・入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。
運転中に入力プラグを出力コンセントに差し込むと電流が還流し、アークが発生してやけど、視覚の障害などのおそれがあります。
- ・両端がプラグになっているケーブルはご使用にならないでください。
感電・やけどのおそれがあります。
- ・POWER スイッチを ON にしたまま入力電源コードを抜かないでください。
感電・やけどのおそれがあります。
- ・負荷を減らす場合、POWER スイッチを OFF にしてください。
火災・やけどの原因になる場合があります。
- ・運転中は UPS を絶対に移動させないでください。
感電・やけどのおそれがあります。

 禁止

- ・UPS の周辺での喫煙、火気の使用を禁止します。
爆発、破損により、けが、火災のおそれがあります。
- ・UPS の上部に花瓶など水の入った容器をおかないでください。
花瓶などが転倒した場合、こぼれた水での感電、UPS 内部からの火災の原因になることがあります。
- ・UPS の上部に腰掛けたり、乗ったり、踏み台にしたり、寄りかかったりしないでください。
- ・次のような用途には絶対に使用しないでください。
 - a . 人命に直接かかわる医療機器などへの使用
 - b . 人身の損傷に至る可能性のある航空機、電車、エレベータなどへの使用
 - c . 社会的、公共的に重要なコンピュータシステムなどへの使用
 - d . これらに準ずる装置

FU-600J を停止する場合は...

- 9 負荷（パソコンなど）のスイッチを OFF にする。
FU-600J に接続した負荷（パソコンなど）のスイッチを OFF にしてください。

- 10 停止する。

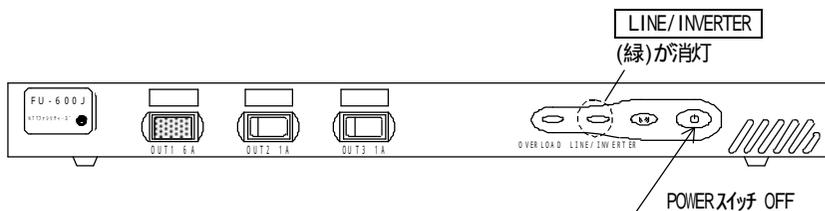
注意

- ・ POWER スイッチを ON にしたままで、入力電源コードを抜かないでください。
停電と同じ状態になり、バッテリーが放電します。

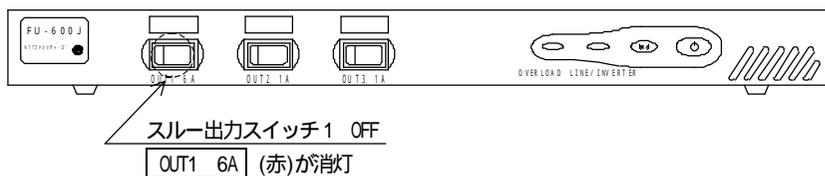
POWER スイッチ（フロントパネル）を OFF にする。
スルー出力スイッチを OFF にする。

[例：スルー出力コンセント（OUT1 6A）及びバックアップ出力使用]

- 操作 1 POWER スイッチを OFF する。



- 操作 2 スルー出力スイッチを OFF する。



4 . 長期間使用しない時には・・・

⚠ 注意

- ・バッテリーには寿命があります。
有効期限の過ぎたバッテリーを使用しないでください。火災の原因になることがあります。

⚠ 注意

- ・バッテリーは使用しなくても自然放電します。初回取付時または長期保存後はUPSを24時間充電してください。
また、長期保存時は6ヶ月ごとに24時間の充電運転を行ってください。
バッテリーが使用できなくなることがあります。

⚠ 注意

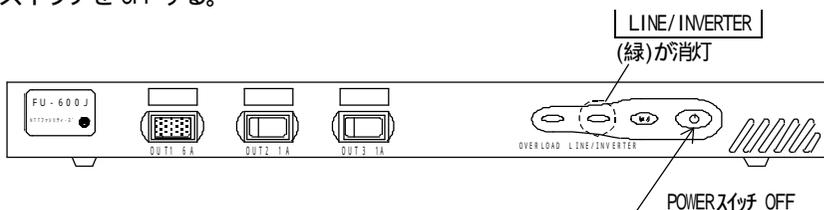
- ・POWERスイッチをONにしたままで、入力電源コードを抜かないでください。
停電と同じ状態になり、バッテリーが放電します。

通常の始動/停止は、POWERスイッチにて行ってください。

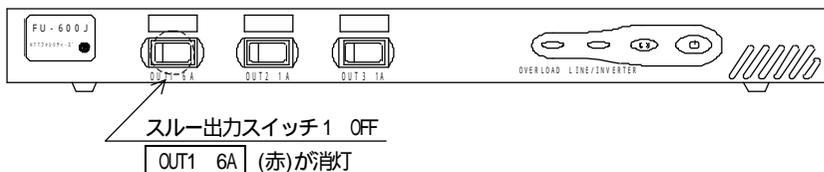
バッテリーの自然放電による電圧低下を防ぐために、FU-600Jを常時運転し、バッテリーの充電を行う必要がありますが、長期間使用しない場合には次の操作を行ってください。

[例：スルー出力コンセント (OUT1 6A) 及びバックアップ出力使用]

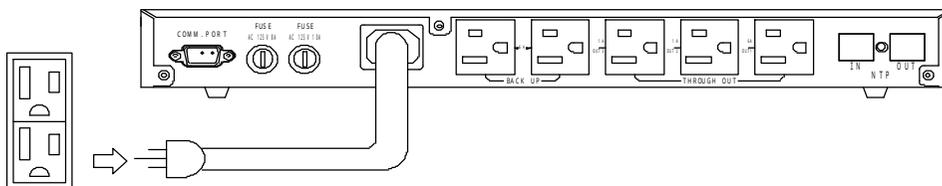
操作1 POWERスイッチをOFFする。



操作2 スルー出力スイッチをOFFする。



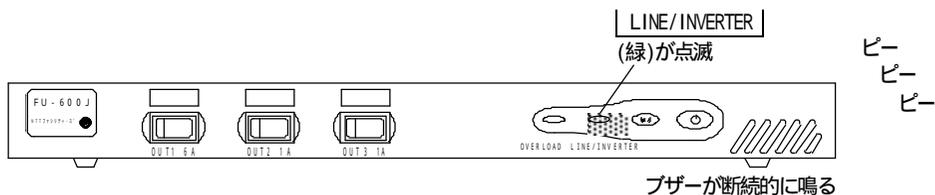
操作3 入力電源コードを商用電源コンセントから抜く。



5 . 停電時の動作

停電すると... (負荷率 100%^(注1)の場合)

- 1 商用運転からバッテリー運転に切り換わる。



- 電圧変動などで商用電源の電圧が 75V ~ 125V 以外になった場合もインバータ運転に切り換わります。

- 2 4分以内^(注2)に負荷の処置をしてください。

- パソコンをご使用の場合は、データをセーブしてください。
- その他の機器をご使用の場合は、必要な処置を行ってください。

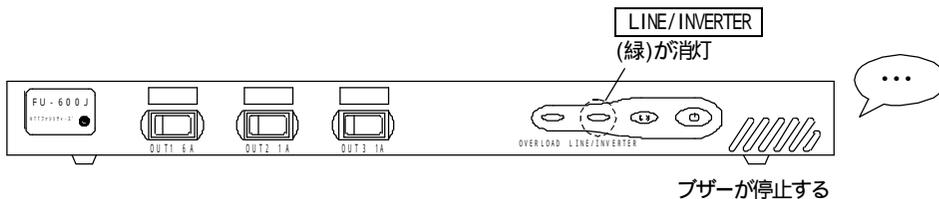
- 3 バッテリー残量が少なくなる。(ローバッテリー)

- ローバッテリーになると、ブザーの断続音が早くなります。
- この時点までには、負荷の処置を完了してください。
- ローバッテリーから約2分後にインバータが停止します

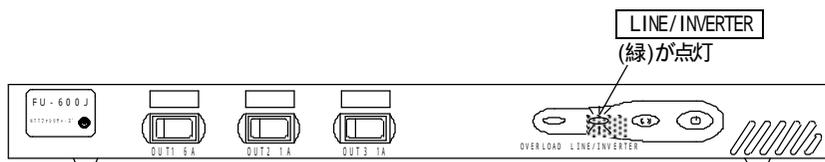
ピー ピー

ピーピーピー

- 4 バッテリーがなくなるとインバータ運転が停止する。



- 5 商用電源が回復すると商用運転に戻る。



- 電圧変動の場合は、商用電源の電圧が正常の範囲 (80V ~ 120V) 内に回復すると商用運転に戻ります。

(注1) 負荷率 100% : バックアップ出力の最大出力電力合計が 360W 6A。

(注2) バッテリーの充電不足または劣化時にはバックアップ時間が短くなる時もあります。

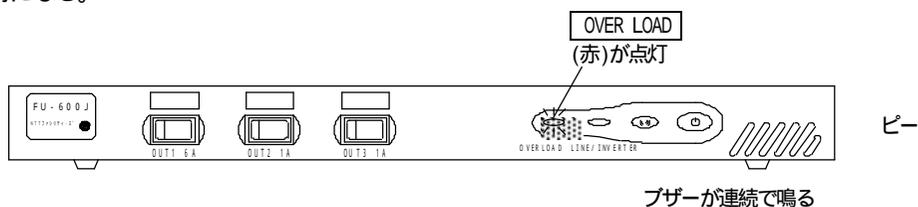
6 . 過負荷時の動作

⚠ 注意

- ・負荷を減らす場合、POWER スイッチを OFF にしてください。
火災・やけどの原因になる場合があります。
- ・運転中は、UPS を絶対に移動させないでください。
感電・やけどのおそれがあります。

商用運転中には

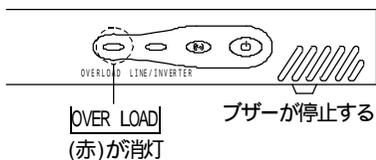
1 過負荷になる。



瞬時的な過負荷だと...

2 自動的に元に戻る。

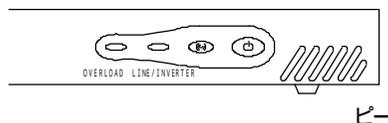
負荷の電源を入れた時に起こる、一時的な過負荷です。そのままご使用ください。



過負荷が続くと...

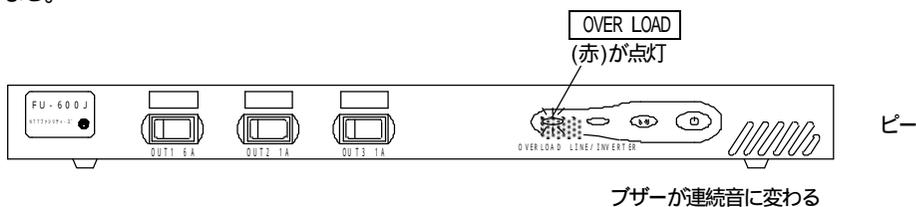
2 過負荷が継続する。

過負荷ですので、負荷を減らしてください。



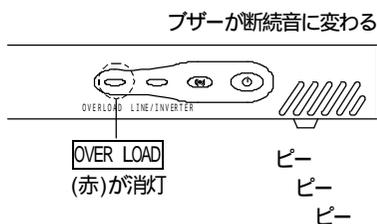
インバータ運転中には

1 過負荷になる。



瞬時的な過負荷だと...

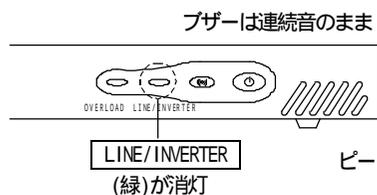
2 自動的に元に戻る。



負荷の電源を入れた時に起こる、一時的な過負荷です。そのままご使用ください。

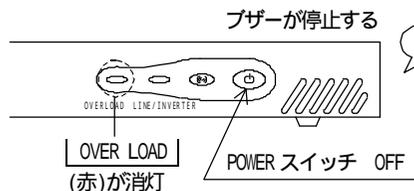
過負荷が続くと...

2 インバータが停止する。



3 FU-600J を停止する。

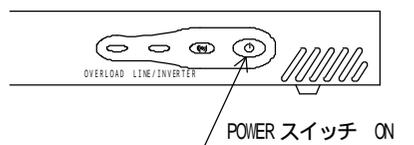
- POWER スイッチを OFF にします。



4 負荷を減らしてください。

- バックアップ出力に接続している負荷の消費電力の合計が 360W 6A 以下になるようにしてください

5 POWER スイッチを ON にします。



- 商用電源が回復すると自動的に始動します。

7. バッテリー電圧不足時の動作

運転スイッチを押した後、OVER LOAD の LED のみが点灯し、ブザーが連続音となった場合は、バッテリーの電圧が不足しているかまたはバッテリーが故障しているときです。

この場合は、運転スイッチをオフにし、8時間以上充電し（入力ケーブルは外さないでください）、再度運転スイッチを押してください。

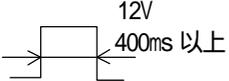
12 ページの説明の通り運転できればそのままご使用してください。ただし、1年以上ご使用の場合は、停電時のバックアップが十分にできない可能性がありますので、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご相談ください。

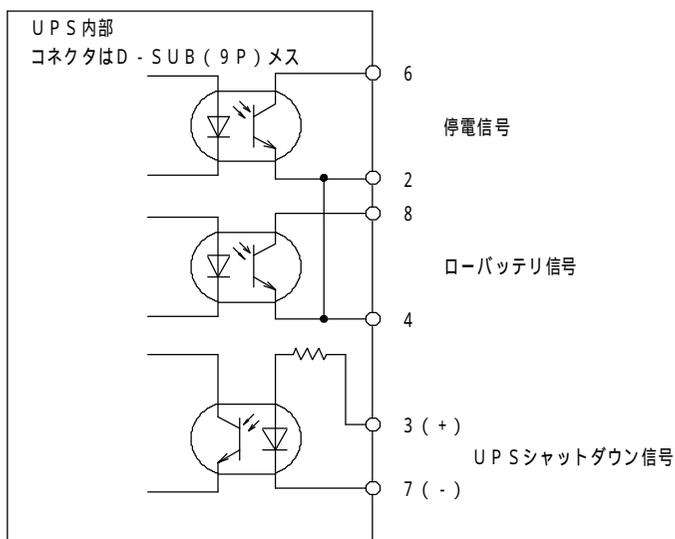
もし、再度 OVER LOAD の LED が点灯し、ブザーが連続音となった場合は、バッテリーが異常（故障または寿命）ですので、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご相談ください。

8 . インターフェース信号について

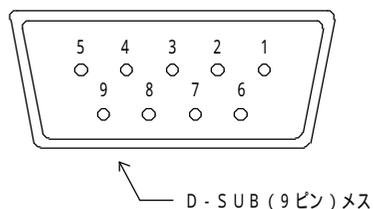
FU-600J には、下記の信号用端子を設けてあります。端子には D-Sub (9 ピン) ソケットを使用しております。ご使用の際は適合するプラグを用意願います。

8.1 信号及び端子配列

	信号名	信号送受	信号仕様	記 事
1	停電信号	送信	55V, 10mA.	・常時ショート ・入力異常時オープン
2	ローバッテリー信号	送信	55V, 10mA	・バッテリー電圧低下予告時 ショート
3	UPSシャット ダウン信号	受信	 12V 400ms 以上	インバータ運転時、信号受信 で UPS 停止



端子配列
AUX. (UPS 裏面)



(注) 1 . 適合 D-Sub (9 ピン) プラグ

- JEC-9P (日本圧着端子社製)
- YD20101 (山一電機社製)
- 又は、相当品

2 . NOVELL インターフェース信号は、
4、6、8 端子のみ使用します。

9 . ネットワークサーージプロテクタ

リアパネルに IN と OUT とラベルが付いたソケットがついています。この機能は、シングル RJ - 45 ネットワーク・コネクタに適合します。

モデム、FAX、またその他の電気通信機器の保護機能を提供する RJ - 11 電話機コネクタにも適合します。大部分のモデム機器と同様、デジタル PBX（構内交換）内でこのソケットの使用は推奨しません。保護する機器の入力コネクタを IN と書かれたソケットに接続してください。出力コネクタを OUT と書かれたソケットに接続してください。

10 . 故障かな? と思ったら

⚠ 危険

- ・UPS のカバーは開けないでください。
感電のおそれがあります。

故障かな? と思われたら、まず次の確認を行ってください。
それでも正常に動作しない場合は、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご相談のうえ、
修理を依頼してください。

現象	原因	処置	注意事項
UPS が始動しない	POWER スイッチがOFF になっている。	POWER スイッチを ON にしてください。	
	バッテリーが異常 (バッテリー電圧が低い)故障)	POWER スイッチをOFF にし、バッテリーを 8 時間以上充電し、再度運転してください。	⚠ 注意 ・入力コードはコンセントから外さないでください。
	入力電源コードが抜けている。	しっかり差し込んでください。	⚠ 注意 ・感電のおそれがあります。 アース線を接続してください。
	停電している。	復電するのを待ってください。 復電すると自動的に始動しますので POWER スイッチを ON にしておいてください。	
	ヒューズが切れている。	ヒューズ ^(注1) を交換してください。	⚠ 注意 ・発火のおそれがあります。 ヒューズ交換の際には同一規格品のものを使用してください。
インバータ 運転しない	バッテリー残量が十分でない。	復電するのを待ってください。 復電後、約 2 4 時間充電 ^(注2) してください。	
復電したのに インバータ 運転をする	商用電源の電圧が正常範囲 (80V ~ 120V) 外になっている。	消費電力の大きい機器と電源系統を別にしてください。	
“ OVER LOAD ” ランプが点灯する	過負荷になっている。	負荷を減らしてください。	⚠ 注意 ・負荷を減らす場合、POWER スイッチを OFF にしてください。 火災・やけどの原因になる場合があります。 ・運転中は UPS を絶対に移動させないでください。 感電・やけどのおそれがあります。

(注1) POWER スイッチを OFF にし入力電源コードを商用電源のコンセントから抜いた後にヒューズを交換してください。

入力ヒューズ	: 125V	8 A
スルー出力用ヒューズ	: 125V	10 A

(注2) UPS が正常な入力を受電すると充電がスタートします。

11 . 長くお使いいただくために

11.1 定期的な点検

⚠ 危険

- ・ UPS のカバーは開けないでください。
感電のおそれがあります。

⚠ 注意

- ・ UPS が故障し、異臭、異音が発生したときは、UPS をすぐに停止してください。
火災の原因になる場合があります。
- ・ 通風口に棒・指などを入れないでください。
感電のおそれがあります。
- ・ 入力プラグは絶対に出力コンセントに差し込まないでください。
運転中に入力プラグを出力コンセントに差し込むと電流が還流し、アークが発生して
やけど、視覚の障害などのおそれがあります。
- ・ 両端がプラグになっているケーブルはご使用にならないでください。
感電・やけどのおそれがあります。
- ・ 装置を商用電源に接続する前に POWER スイッチを OFF にしてください。
感電・やけどのおそれがあります。
- ・ POWER スイッチを ON にしたまま入力電源コードを抜かないでください。
感電・やけどのおそれがあります。
- ・ 負荷を減らす場合、POWER スイッチを OFF にしてください。
火災・やけどの原因になる場合があります。
- ・ 運転中は UPS を絶対に移動させないでください。
感電・やけどのおそれがあります。

FU-600J には特別な手入れは必要ありませんが、長期間安全にご使用いただくために、次の
～ を定期的に点検してください。

- 装置表面が異常に熱くなっていませんか？
- 入力電源コードが異常に熱くなっていませんか？
- 装置側面の通風口がふさがっていませんか？

万一異常が見つかった場合は使用を中止し、お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご相談ください。



Pb

この製品には、鉛蓄電池を使用しております。鉛蓄電池はリサイクル可能な貴重な資源です。鉛蓄電池の交換およびご使用済み製品の破棄に際しては、リサイクルへご協力ください。

11.2 バッテリーの寿命について

⚠ 注意

- ・バッテリーには寿命があります。
有効期限の過ぎたバッテリーを使用しないでください。火災の原因になることがあります。

⊘ 禁止

- ・指定した人以外の方は、保守・点検、修理をしないでください。
感電、けが、火災のおそれがあります。

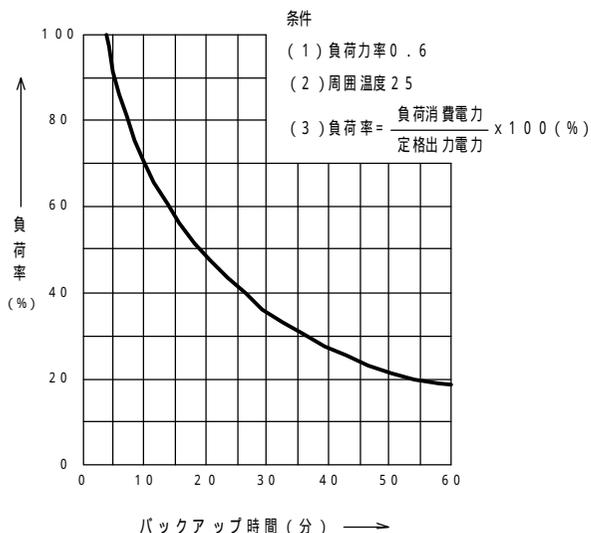
FU-600J に使用しているバッテリーには寿命があります。
有効期限が近づきましたらお早めにお買い上げの販売店または最寄りの営業所にご相談ください。

	バッテリー ^(注1)
寿命	目安として4.5年 ^(注2)
連絡先	お買い上げの販売店

(注1) バッテリーはメンテナンスフリータイプですので日常の保守は不要です。

(注2) 4.5年は周囲温度が25における目安です。周囲温度が高い場合または停電頻度の多い場合は寿命が短くなります。(周囲温度が40の場合の寿命は、約2年となります)

バッテリー交換の時期は、バックアップ時間の変化でわかります。



周囲温度25でバックアップ時間を測定してください。

バックアップ時間が図1のバックアップ時間の8割以下に低下していれば、バッテリー交換の時期にきています。お買い上げの販売店または最寄りの営業所にご相談ください。

12 . 保証書とアフターサービス

12.1 保証書

- この製品には保証書が添付されています。保証書の内容と所定事項が記入されていることをご確認のうえ、大切に保管してください。
- 保証期間はご購入日より1年間です。

12.2 アフターサービス

アフターサービスについてのお問い合わせは、ご購入の販売店にどうぞ！

(1) 保証期間中の修理

保証書の記載内容に基づき、修理させていただきます。詳しくは保証書をご覧ください。

販売店に連絡されるときは、次のことをお知らせください。

品名	: 無停電電源装置
形名	: FU-600J
ご購入日	: 保証書に記載
故障の状態	: できるだけ詳しく

(2) 保証期間経過後の修理

修理によって機能が維持できる場合は、お客さまのご要望により有料修理させていただきます。

13 . 仕 様

項 目		仕 様	記 事
入 力	相 数	単相 2 線	2 P + E (アース付)
	電 圧	100V ± 25V	定格電圧=100V
	周 波 数	47 ~ 53Hz / 57 ~ 63Hz	
	電 源 容 量	最大 1.5kVA 以下	商用給電 + 充電時
商 用 出 力		入力 75V ~ 125V に対し、 90V ~ 112V	・ AVR 付 (スルー出力は除く) ・ 各範囲における設定精度は ± 4 V
バック アップ 出力	容 量	600VA (360W)	Pfc=0.6
	定 格	短時間定格	
	相 数	単相 2 線	2 P + E (アース付)
	電 圧	95V ~ 107V	
	周 波 数	50 / 60Hz ± 2 Hz	入力周波数により自動切換
	電 圧 波 形	矩形波 (3 ステップ波形)	
	負 荷 力 率	0.6	
ス ル ー 出 力 容 量		800VA (8 A)	2 P + E (アース付)
瞬時過負荷	商用給電時	1000%, 10ms	
	インバータ給電時	120%, 200ms	
出 力 切 換 時 間		10ms 以下	商用 インバータ
バッテリ	種 類	小形シール鉛蓄電池	長寿命タイプ
	容 量	7.2Ah	20HR
	個 数	3個	3直列
	定 格 電 圧	18V	
	停電保証時間	4分以上	100%負荷 25
	充 電 時 間	約 8 h 以内	8 時間で 80%まで回復
表 示	LINE (連続点灯), INVERTER (点滅)		緑色 1 灯で兼用 (LED)
	OVER LOAD (連続点灯)		赤色 LED
	スルー出力		ネオンランプ
警 報		ブザー	
騒 音		40dB 以下	装置前方 1 mにおいて
使 用 温 度		0 ~ 4 0	
相 対 湿 度		1 0 ~ 9 0 %	結露しないこと
絶 縁 耐 圧		AC1.5kV 1分間	電気回路 - F G間
絶 縁 抵 抗		10M (DC500V ｶﾞｰ)	但し、アース部品を除く
インターフェース信号		インバータ運転信号 ローバッテリー信号 シャットダウン信号	D - Sub 9 ピンコネクター
寸 法		380(W) × 365(D) × 45(H)	ゴム足含む
質 量		1 1 kg	

NTTファシリティーズ グループ 連絡先一覧

NTTファシリティーズ 本社、事業本部、支店

E-mail	info@ntt-f.co.jp	URL	http://www.ntt-f.co.jp	
営業本部	〒108-0023	東京都港区芝浦3-4-1	グランパークタワー	TEL 03-5444-5000
首都圏事業本部	〒108-0073	東京都港区三田3-10-1	アーバンネット三田ビル	TEL 03-3769-7711
東北支店	〒984-8519	仙台市若林区五橋3-2-1	NTT五橋第2ビル	TEL 022-214-3571
北海道支店	〒060-0042	札幌市中央区大通西7-3-1	エムズ大通ビル	TEL 011-272-7900
東海支店	〒456-0016	名古屋市熱田区五本松町7-30	熱田メディアウイング	TEL 052-683-4540
関西事業本部	〒550-0001	大阪市西区土佐堀1-4-14	アーバンエース肥後橋ビル	TEL 06-6446-7411
北陸営業本部	〒921-8025	金沢市増泉1-43-1	NTT増泉ビル	TEL 076-280-9435
四国営業本部	〒790-0808	松山市若草町3-6	NTTコムウェア松山ビル	TEL 089-934-1920
中国支店	〒730-0004	広島市中区東白鳥町14-15	NTTクレド白鳥ビル	TEL 082-222-5111
九州支店	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1-17-21	NTTデータ博多駅前ビル	TEL 092-436-8118

NTTファシリティーズエンジニアリング 各社

株式会社 NTTファシリティーズエンジニアリング 中央 (NTT-FE中央)	〒108-0073	東京都港区三田3-10-1	アーバンネット三田ビル	TEL 03-5765-8900
株式会社 NTTファシリティーズエンジニアリング 東北 (NTT-FE東北)	〒984-8519	仙台市若林区五橋3-2-1	NTT五橋第2ビル	TEL 022-214-3615
株式会社 NTTファシリティーズエンジニアリング 北海道 (NTT-FE北海道)	〒060-0001	札幌市中央区北1条西10-1-21	ユーネットビル	TEL 011-272-8900
株式会社 NTTファシリティーズエンジニアリング 東海 (NTT-FE東海)	〒456-0016	名古屋市熱田区五本松町7-30	熱田メディアウイング	TEL 052-683-5818
株式会社 NTTファシリティーズエンジニアリング 関西 (NTT-FE関西)	〒550-0001	大阪市西区土佐堀1-4-14	アーバンエース肥後橋ビル	TEL 06-6446-2891
株式会社 NTTファシリティーズエンジニアリング 中国 (NTT-FE中国)	〒730-0004	広島市中区東白鳥町14-15	NTTクレド白鳥ビル	TEL 082-212-3700
株式会社 NTTファシリティーズエンジニアリング 九州 (NTT-FE九州)	〒812-0011	福岡市博多区博多駅前1-17-21	NTTデータ博多駅前ビル	TEL 092-436-7111